

# JTA Journal

ジャーナル

April 2026 No.44

巻頭言



想定外と、向き合う

副会長

森

誠

2023年に副会長を拝命し、2期目に入りました森でございます。

2023年当時はコロナ禍が落ち着き、対面での会合や懇親の場が少しずつ戻ってきた時期でした。「解禁」という言葉を私自身も何度となく耳にし、当工業会においても久しぶりに秋季総会を金沢で開催するなど、以前の活動がようやく動き出した年だったと記憶しています。人と直接顔を合わせ、言葉を交わすことの大切さを、改めて実感する機会でもありました。

副会長の役目の一つに、総会后や懇親会での挨拶があります。正直に申し上げると、私は人前で話すことが得意ではありません。その原点は高校2年の文化祭です。弁論大会のクラス代表を決める際、今の時代であれば問題になるかもしれませんが、皆が私の口下手を知らながら多数決で指名されてしまいました。その経験はいまだに強く記憶に残っています。

そのため、懇親会の挨拶では、何を話そうか、どう切り出そうかと毎回悩みます。私の挨拶を聞いて、「この程度か」と感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、内心ではそれなりに葛藤している、ということをご理解いただければと思います。

そんな私に、世界切削工具会議 (WCTC) 2024のディナーでの挨拶という役目が回ってきました。通訳がつくものと完全に思い込んでいましたが、事務局からの返答は「通訳はつきません」。正直、目の前が真っ暗になりました。原稿を考え、理事会でも再度お願いしましたが答えは変わらず、最後は当日の司会者に直接サポートをお願いすることになりました。「自信はありませんが、できるだけやってみます」。その一言で、不思議と落ち着いたのを覚えています。

結果として、私の拙い英語が詰まるたびに会場が静まり返り、日本の参加者が茶々を入れ、海外の方もそれに反応する。気がつけば、挨拶というより全員参加のやり取りになっていました。後日「いい演出でしたね」と声を掛けられましたが、私自身としては全くの想定外でした。時間が経つにつれ「まずやってみたこと自体がよかったのかもしれない」と思えるようになりました。振り返ってみると、あの場では自然と助け合いが生まれ、誰かが誰かを支える空気がありました。

私のような想定外はまだ良いかもしれませんが、昨年末から今年にかけての国際情勢の変化、トランプ氏の発言、日本株式の乱高下、円ドル相場の急変、短期間での衆院解散と選挙結果、さらには身近な問題としてのレアメタルの動向など、これらは本当に想定されていたことだったのでしょうか。

私自身の問題としても、PDCAを確実に回して行動しているのか、実行できなかったときに深く追求しているのか、安易に「想定外」という言葉に逃げていないか。そうした点をこれからも自分自身に問い続けていきたいと思っています。

良い意味での“想定外”は、一生懸命頑張った時のごほうびだと私は確信しています。

これからも想定外は起こるでしょう。その一つひとつと向き合いながら、精一杯務めてまいります。

(富士精工(株) 代表取締役会長兼社長)

# 2026年 新年賀詞交歓会

編集委員 曾根 美桜 (富士ダイス株)



■ 2026年賀詞交歓会

1月13日、東京會館丸の内本館にて、2026年新年賀詞交歓会が開催された。正会員、賛助会員をはじめ来賓、OB、報道など259名が出席し盛会となった。

年頭の挨拶で佐橋会長は、2025年の景況として「国内は、賃金や諸コストの上昇があり厳しい中それに伴う値上げを受け入れていただいております、非常に穏やかな回復傾向と言われているが、実際目の当たりにする生産現場では物量的には十分ではないお客様も多く、回復とはまだまだ言えない苦しい状況が継続している。当工業会は他の工業会様と比較すると国内の販売比率が高いため、国内の需要回復が今年も非常に大きな課題であると認識している。

一方、海外に目を向けると、米国については相互関税問題に翻弄された。夏以降は徐々に落ち着き、また課税分はお客様が転嫁を受け入れてくださるケースも増え、さらに円安の影響もあり、あくまで結果論となるが当初想定していたほどの影響にはならなかったと認識している。とはいえ、事業に関するリスクが高まっており、安心できる状況ではないため、今年も対米関係を注視しておく必要がある。欧州は自動車の販売不振やロシア・ウクライナ問題も長期化しているため、減速感がある。また、中国のタングステン原料の輸出規制が昨年2月から始まり、原料不足・価格高騰の問題が発生した1年となった。この問題は現在も継続しており実際に規制後、中国から日本に輸出されたタングステン原料は我々にとっては十分ではなく、価格も上昇しており、今後の状況を注視せざるを得ない。

当工業会の2025年度上期の機械工具生産額は、前年度同期比+2.1%の2,369億円。昨年秋に年間見通しの修正として、当初の見通しから若干下げ、4,813億円で発表した。現在も計画上で推移しているが、原料の価格高騰や供給という問題により、予想は非常に難しい状況である。1～3月の状況をさらに注視していく必要がある。先日、日本工作機械工業会は、2025年は1兆6,000億円、2026年は1兆7,000億円という数字を公表された。我々も工作機械の流れにうまく乗って数字をあげていけたらと考えている。」と述べ、その後、「今年の3つの重点課題として、

- ①タングステン原料の調達、リサイクル促進：貴重な原料や、その原料となる超硬スクラップを国外に流出させないことを工業会全体でお客様へ働きかけ、また、そのガイドラインを広める必要がある。経済産業省の多大なるご支援をいただき、原料の安定供給のための能力確保・増強に向けた取り組みを進めていきたい。
- ②海外進出のサポート：2025年は、EMOの視察や欧州工業会との会合を実施したが、2026年はAMBへの共同出展の企画、活況市場での展示会視察も検討し、海外進出をバックアップしていきたい。
- ③DXの推進：以前に発足させたConnected Industries委員会を再開し、工具のデジタルデータ標準化を推進し、活用していきたい。



■ 挨拶 佐橋会長

今年は、非常にチャレンジングな年になると覚悟しており、その時々状況や変化に対して臨機応変に、かつスピーディーに対応していくということが我々にとって重要である。」と挨拶した。

次に、経済産業省製造産業局産業機械課の須賀課長が来賓を代表され、「昨年は中国と米国のさまざまなやりとりで翻弄された1年であり、今年はようやく落ち着いた年明けを迎えられると思っていたが、ベネズエラや中国など、次々と目まぐるしく国際情勢が動いており、今年も激動の1年を皆様と駆け抜けていくのだと気持ちを新たにしている。国内に目を向けると、人口減少や少子高齢化の影響での拠点不足がますます深刻となり、かつ、これが変わらないトレンドであるということが徐々に世の中にも理解がされ始めてきた。物価高も、世界的な資源価格の高騰や不確実性の影響で高まっている。こうした中で、政府としては国民の皆様が直面している物価高の対応として、昨年未だにエネルギー価格の高騰に対し、一定の施策を打ち出し対処した。このあと賃上げについても引き続き施策を行っていき、中小企業・小規模事業者の中でも、より稼ぐ力を高めて、賃上げをやっていこうと考えている企業を特に全力で応援していきたい。危機管理投資の重点分野としては、AI・半導体、バイオ、航空・宇宙、エネルギー、GXなどいくつか戦略分野が指定され、工程表の中に皆様



■ 祝辞  
経済産業省 須賀課長

が重要だと考える事項を入れ込めていけるよう連携していきたい。機械工具は自動車・航空機・半導体など、我が国のものづくり産業を根底から支える極めて重要な製品となる。昨年、中国による重要鉱物の輸出措置を受け、超硬工具の材料であるタングステンの安定供給に対する懸念が高まる中、工業会の中でも検討の場を設けていただく等、非常にすばやくリーダーシップを発揮していただいたこと、心より感謝している。政府としても、より連携を図りながら、供給源の切り替えを積極的に後押ししていくとともに、重要鉱物の安定供給体制の確保に努めていく。」との祝辞があった。



■ 乾杯 森副会長

続いて、森副会長が「最近、想定外が当たり前になっている。アメリカやメキシコなど想定より調子が良い。想定外で良いときは良いが、悪いときや実感がないうときは難しい。今年が悪いことばかりではなく、想定外で良いことが起きるように願いつつ、今年1年、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思う。」と挨拶し、乾杯の音頭をとった。祝宴では出席者が和やかに年始の挨拶を交わし歓談する姿が見られた。

宴もたけなわの頃、小原副会長が中締めの挨拶をした。



■ 中締め  
小原副会長



■ 賀詞交歓会の様子

こうして2026年の日本機械工具工業会は新たなスタートを切った。

# 第15回 技術交流発表会

編集委員 齋藤 絵里奈 (三菱マテリアル㈱)



■発表会の様子

技術者の相互研鑽および最新技術の紹介等を目的とした第15回技術交流発表会が、2月6日に開催された。会場は機械振興会館、リアル・オンライン合わせて、39社217名の方が参加された。

大石専務理事の開会の辞に続き、高橋委員長(三菱マテリアル㈱)より「今回は技術功績大賞1件、技術功績賞7件、技術奨励賞1件合わせて9件の受賞があった。これは現場での地道な改善や試行錯誤を重ねて得た成果であり、受賞者には心より敬意を表したいと思う。本日の発表を通じて、それぞれの現場や明日からの取り組みの糧として実り多きものとなることを願う。」と開会の挨拶があった。その後、萩野副委員長(オーエスジー㈱)の司会進行のもと、下記9件について令和7年度日本機械工具工業会賞受賞記念講演が行われた。

発表会の最後は高橋委員長から「本日の発表を通じ

て、工具の材料・コーティング・加工システムに至るまで機械加工の技術が確実に次の時代に進んでいることを感じる事ができた。EV関連の部品をはじめ、加工環境が大きく変化する中で、各現場から生まれた工夫や挑戦が明確に示されており、単に性能を高めるという視点だけではなく、航空機・自動車・エネルギーといったそれぞれの産業の中でどのように役立つか、価値を生み出すのかを意識して取り組んでいるのが本日の発表から感じられた。技術交流発表会は、成果を披露する場であると同時に、他社同士の取り組みから刺激を受けて次の一步を考える貴重な場でもある。本日得た気づきやヒントが次の開発・製品へ繋がっていくことを心より期待している。」との総評で締めくくられ、終了後は懇親会および講演者への記念品贈呈を行い、閉会した。



■集合写真

## ■受賞記念講演一覧 (発表順・敬称略)

### ① 「押圧FSWホルダ」の開発

富士精工株式会社 秋元 優二

### ② 溝入れ、突切り用PVD材種PR20シリーズの開発

京セラ株式会社 渡邊 賢作

### ③ チタン合金旋削用新材種AC9115/25Tの開発

住友電工ハードメタル株式会社 田中 大勢

### ④ ダイヤコーティングエンドミル「AVIX型」の開発

住友電工ハードメタル株式会社 三角 周平

### ⑤ 高切りくず排出性BTA工具「BSG」の開発

株式会社 タンガロイ 志鎌 広也

### ⑥ 二軸押出機用部材「MZ II」の開発

日本タングステン株式会社 真島 克弥

### ⑦ EV部品加工用フォーミングラック

株式会社 不二越 柴田 祥平

### ⑧ ステンレス鋼旋削材種MC/MP71シリーズの開発

三菱マテリアル株式会社 近藤 翔太

### ⑨ 「SCPT-Ni合金」の開発

日本特殊合金株式会社 堤 友浩

# 第11回 環境活動交流発表会

編集委員 源 裕子 (オーエスジー株)

第11回環境活動交流発表会が3月13日に大阪科学技術センターにて行われた。参加企業は31社、参加者数は105名であった。

はじめに、村上委員長 (株不二越) が開会の挨拶として「国際情勢や各国規制の変化などにより事業環境が大きく変化中、環境問題や資源問題への対応は年々重要性を増している。本発表会は、省エネ・省資源・廃棄物削減など各社の取り組みを共有し、業界全体で環境対応力の向上を図ることが目的である。」と述べた。

次に浅井環境調和製品基準評価委員長 (エフ・ピー・ツール株) から環境ラベル制度の概要と今後についての報告があり「環境ラベル制度は、国際的な環境規制強化を背景に整備され、製品や事業活動の環境配慮を分かりやすく示す仕組み。現在は100点満点による認定制度を運用し、今後は展示会やメディアを通じた情報発信を強化するとともに、今年開催されるJIMTOF2026に向けて、さらなる制度普及とプロモーションを進めていく。」と述べた。続いて、市川環境賞専門委員 (富士精工株) が2025年度環境調査票集計報告について「JTA環境委員会では、環境自主行動指針に基づき、会員企業を対象とした環境調査を毎年実施している。調査は、調査票への回答および環境活

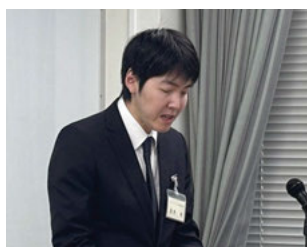
動賞への応募を通じて行われ、製品については環境調和製品認定制度により環境負荷低減の度合いを個別に評価している。本調査は、自社の環境対応状況の把握と改善促進、優良な環境改善事例の共有、ならびに業界全体の環境改善状況の可視化を目的としており、その結果をもとに各種表彰を実施。環境大賞は、総合得点132点と最高得点を獲得された(株)タンガロイが、昨年に引き続き受賞。生産単位当たりの環境負荷を4年間で半減させるなど、継続的な取り組みが大きな成果として表れている。環境賞は、僅差の131点を獲得された京セラ(株)が受賞された。すべての取り組みが会員企業にとって参考となる優れた事例であった。」と紹介し、家野環境賞専門委員長の司会進行にて環境各賞受賞記念発表が行われた。

環境特別賞は、日本新金属(株)、三菱マテリアル(株)、三菱マテリアルハードメタル(株)の3社、また、環境活動賞は9社15件が受賞。いずれも会員企業の参考となる優れた環境活動事例として各社の担当者より発表され、環境負荷低減、カーボンニュートラルの実現に向けたCO<sub>2</sub>排出量削減・廃棄物の削減、再エネルギー活用と多様な観点からの取り組みに年々取り組み意識の高まりや熱量が感じられる発表会となった。

その後の懇親会では、互いの意見交換も活発に行われ、業界での環境対応の向上や協業につながる有意義な時間となった。最後は中川副委員長 (住友電工ハードメタル株) が「各社の発表を環境強化に役立ててほしい。」と挨拶し、一本締めで盛況のうちに閉会した。



■村上委員長



■浅井環境調和製品基準評価委員長



■市川環境賞専門委員



■家野環境賞専門委員長



■中川副委員長

## 発表者一覧 (敬称略)

### 【環境大賞 (含：環境活動賞)】 1件

活動賞テーマ：生産設備の付帯機器不要時停止による電気使用量削減  
エアブローのエア消費量削減

株式会社 タンガロイ

品質保証部 環境グループ 羽成 美澄

生産本部 生産技術部

設備技術グループ 二宮 貴洋

生産本部 九州工場 設備技術課 荒木 亮輝

### 【環境賞 (含：環境活動賞)】 1件

活動賞テーマ：外周研削盤 エア使用量削減

京セラ株式会社

生産技術部 川内管理技術課 福岡屋 拓海

### 【環境特別賞】 3件 (社名五十音順)

#### ■生産高原単位によるCO<sub>2</sub>排出量の削減

—2022年からの活動紹介—

日本新金属株式会社

安全環境管理室 重枝 耕造

#### ■微生物浄化剤を用いた食堂グリストラップの油分濃度低減

三菱マテリアル株式会社

安全環境管理室 練木 貴之

#### ■産廃削減と省エネ活動

三菱マテリアルハードメタル株式会社

安全環境管理室 嶋野 達徳

### 【環境活動賞】 11件 (発表順)

#### ■真空オイルの見直し (廃棄物削減)

NTKカッティングツールズ株式会社

生産本部 製造部造2課 宇佐美 貴浩

#### ■設備暖気運転見直しによる省エネ

オーエスジー株式会社

第4製造部 近藤 正

#### ■スプレードライヤでの有機溶剤のリサイクル化

ダイジェット工業株式会社

富田林合金生技課 石井 翔

#### ■側溝止水弁更新による漏洩リスク低減の取組み

三菱マテリアル株式会社

安全環境管理室 林 里美

#### ■包装資材変更によるプラスチック廃棄量の削減

三菱マテリアル株式会社

安全環境管理室 前田 浩一

#### ■サーキュレーター設置による工場内温度ムラ解消

住友電工ハードメタル株式会社

生産技術開発部 設備開発グループ 吉田 政憲

#### ■工具製造工場屋根への太陽光発電採用

株式会社 不二越

工具事業部 工具企画部 森 健治

#### ■自動工具研削盤用ろ過装置電力量低減

富士精工株式会社

生産技術部 グローバル生産技術課 加藤 優奈

#### ■コンティニューム活用による空調効率改善

富士精工株式会社

技術部 製品開発課 阿戸 清か

#### ■高アルカリ廃液の削減

富士精工株式会社

鹿児島工場 鹿児島工場製作課 間手原 翼

#### ■電力使用量低減と効率化によるCO<sub>2</sub>排出量の低減

富士精工株式会社

熊本工場 管理課 岩永 文博



■集合写真

## 2025年度 技術環境合同委員会

12月4日～5日の2日間、福岡県北九州市で技術環境合同委員会が開催されました。本委員会は技術委員会、環境委員会並びに各専門委員会の活動状況を共有することを目的としており、本年度の参加者は29名、今回も技術委員会、環境委員会並びに各専門委員会より幅広くご参加いただきました。

### 合同委員会

12月4日の会議では各委員会の委員長より活動報告が行われました。委員間での活発な意見交換、また本年度は技術・環境の両分野に共通する将来的な課題としてデジタルプロダクトパスポート (DPP) をはじめとするデジタル化・情報連携の在り方についても議論を行いました。今後両委員会が共通課題について連携して議論すること等が確認され、約2時間にわたる有意義な会議となりました。



■合同委員会の様子

### 株式会社安川電機 見学

12月5日は、福岡県北九州市に拠点を置く株式会社安川電機を訪問し、工場見学を実施しました。

第一工場では、主に小型ロボットの製造が行われており、年間約1,200台を生産する高度な半自動化ラインを見学しました。生産工程の随所に、省人化及び効率化を追求した同社独自の取り組みが反映され、世界トップクラスのロボットメーカーとしての技術力を間近に感じることができました。

また、通常の製造ライン見学に加え、トライエンジニアリング株式会社様による摩擦攪拌接合 (FSW) のデモンストレーションが実施されました。FSWは金属を溶融させることなく接合が可能な技術であり、軽量化や高品質な接合を実現する次世代加工技術として注目されています。実際の加工プロセスを通じて、その高精度かつ安定した接合技術の有効性について理解を深めることができました。



■株式会社 安川電機

### 太宰府天満宮 見学

株式会社安川電機様の工場見学後は、太宰府天満宮を見学いたしました。

太宰府天満宮では、来る1125年式年大祭 (2027年) に向け、124年ぶりとなる本殿の大改修工事が進められています。

現在は、文化芸術の神様として慕われる天神さまのもとに現代のクリエイターたちが集い、令和の時代を映し出した魅力あふれる特別な仮殿が設けられています。



■集合写真



■太宰府天満宮仮殿

伝統と創造性が融合した新たな文化発信の場となったこの特別な仮殿は2026年5月頃まで設けられている予定であり、そのあとは改修された本殿を拝観することができます。

技術環境合同委員会は、各委員会で活動される皆さまが一堂に会し、相互に交流を深める貴重な機会となっています。毎年技術委員会、環境委員会並びに各専門委員会から参加者を募集しており、次回は2026年12月頃開催の予定です。

今回ご参加いただいた方はもとより、参加されなかった方におかれましても、次回はぜひご参加ください。

## ◆会社紹介とPR

三菱マテリアル岐阜製作所は、「奥の細道」結びの地で有名な岐阜県大垣市の北約8kmに位置する岐阜県安八郡神戸町に1973年に設立されました。以来、約50年に亘りこの地で切削工具の製造に取り組んでいます。



岐阜製作所

当製作所は、合金素材・耐摩耗工具の製造から始まりました。合金素材はタングステンカーバイドをベースに、コバルト、チタン等用途に応じて混合した粉末を焼結して作られます。又、耐摩耗工具については鉄鋼、自動車、飲料等多岐に亘る産業に用いられています。

現在はCBN & PCD工具、標準仕様、特殊仕様のホルダ製造を中心に行っており、特に主力製品であるドリルにおいては、世界最小径のクーラント穴付きドリルも製造しています。同敷地内で原料から素材、焼結、加工、コーティング処理まで一貫生産できる特長が活かされています。

また、当社ではタングステンの積極的なリサイクルにも取り組んでいます。リサイクルによって回収された使用済み超硬工具は、タングステン原料へ戻された後に新たな切削工具として生まれ変わります。これは、当社が目指す姿である、「人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する」を体現しています。

東海地区には大手自動車メーカー・重工業をはじめとする多くの切削工具ユーザーが集積しており、この岐阜製作所が存在する地の利を活かして同敷地内にテクニカルセンターを設置することで、切削試験や加工評価に限らず切削工具に関するセミナー等も実施し、毎月多くのお客様にご来所いただいております。

2025年には従業員の家族を工場にお招きして、工場見



工場見学会時の体験イベント

学や社員食堂での昼食等、盛り沢山のイベントを実施しました。その中でも、工場で実際に製造しているドリルに触れる体験では、小さなお子さんが目を輝かせながらイベントに取り組んでいました。

毎年神戸町が実施する「川と海のクリーン大作戦」（揖斐川周辺の清掃活動）には、社員による周辺地域の清掃活動として参加しています。従業員の家族や地域社会がより良く過ごせるために更なる環境の向上と、地域社会との積

極的な関わりを持って共生を目指しています。

## ◆ご当地の紹介

### ○神戸町

「セウしない都会でもなく、何も無い田舎でもない。ちょっと行けばなんでもそろい、ちょっと行けば大自然。ちょっといい町、神戸町！」神戸町は大垣市の北に位置し、西に伊吹山、北に白山山系の山々を臨み、東に清流・揖斐川、南に濃尾平野が広がる自然豊かな、人口約2万人の町です。

### ○日吉神社

817年（弘仁8年）、伝教大師（最澄）が東国へ天台宗の布教に東山道を通った際、地元の郡司の帰依を受け、影向山神後寺善学院を建設し、日吉神社として創建しました。近江坂本の日吉大権現（山王権現）を主神として七柱の神を祀り、宮居は「日吉新宮」と名付けられました。往時は社僧八坊を有し、比叡山と共に栄えてきました。その後、平野荘（神戸町一円）の鎮守神として長く人々の厚い信仰に支えられ、その中で神戸山王まつりが形作られました。



日吉神社 本殿

### ○夜叉堂

夜叉堂は、神戸町の石原伝兵衛家にあり、平安時代に実在したという夜叉姫とその父親である郡司安八太夫安次が祀られる御堂です。

817年（弘仁8年）に美濃国平野庄（神戸町）が大干ばつに見舞われた際、安次が道端の小さな蛇に雨を願ったところ、この小蛇は龍神であり、その夜付近一帯に大雨を降らせました。安次が龍神と、村のためにその龍神のもとへ嫁いだ娘・夜叉姫を祀る祠を自宅内に建立したのが夜叉堂の始まりで、毎年8月には例祭が執り行われます。

## ◆イベント

### ○神戸山王まつり

神戸山王まつりは、日吉神社の例祭で毎年4月の第4土曜日（試楽）・日曜日（本楽）に開催されます。神輿の渡御の際には、絶対に止まらず全力疾走し、走りながら途中で担ぎ手が替わる等、他の祭りではあまり見られないユニークな特徴があります。



神戸山王まつり

# 2025年暦年生産額推移

(単位：百万円)

品目	2024年	2025年														
	暦年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	1~6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7~12月	暦年
ドリル	14,370	1,193	1,119	1,176	1,228	1,187	1,206	7,109	1,256	1,088	1,229	1,253	1,259	1,233	7,318	14,427
エンドミル	5,050	464	479	525	471	418	455	2,811	450	433	453	469	467	429	2,702	5,513
カッタ	1,292	141	136	165	144	153	160	900	158	91	160	150	138	140	837	1,737
ギャカタ	7,721	551	535	650	566	498	607	3,407	613	531	546	582	523	558	3,354	6,760
ブローチ	9,303	720	719	767	702	694	770	4,372	773	772	798	784	781	818	4,726	9,098
ねじ加工工具	36,330	3,060	3,125	3,176	3,361	2,998	3,224	18,944	3,227	2,487	3,124	3,271	3,103	3,114	18,327	37,271
バイト	96	7	8	4	7	10	13	49	5	8	9	9	10	7	48	97
リーマ	1,389	105	102	97	110	103	121	639	110	82	102	108	96	111	608	1,247
鋸刃カッタ	1,467	128	123	127	128	129	128	763	125	135	135	136	132	135	797	1,560
耐摩耗工具	1,878	119	128	116	125	97	128	713	137	111	127	117	111	128	731	1,445
特殊鋼工具計	78,896	6,487	6,474	6,804	6,842	6,289	6,811	39,708	6,855	5,737	6,685	6,879	6,621	6,671	39,447	79,155
ドリル	44,308	3,593	3,749	4,267	4,056	4,127	4,092	23,885	4,325	3,737	4,294	4,444	4,253	4,438	25,492	49,377
エンドミル	42,817	3,371	3,803	3,881	3,967	3,640	3,859	22,521	4,052	3,126	3,867	4,051	3,685	3,770	22,551	45,072
カッタ	6,041	523	520	532	557	532	569	3,232	584	444	604	636	602	602	3,472	6,704
ねじ加工工具	4,265	313	333	339	360	331	351	2,026	379	327	369	396	382	359	2,211	4,237
バイト	10,082	764	783	894	867	907	929	5,145	861	750	859	904	833	910	5,117	10,261
リーマ	2,627	194	242	234	244	214	228	1,356	293	223	274	296	240	246	1,572	2,928
鋸刃カッタ	565	44	48	54	55	49	53	303	50	37	53	56	63	60	321	624
インサート	168,305	14,465	14,393	15,477	13,742	13,339	14,674	86,091	14,879	12,604	15,192	14,297	13,205	13,833	84,010	170,101
耐摩耗工具	35,540	2,874	2,948	3,142	3,052	3,093	3,050	18,159	3,082	2,539	3,039	3,104	3,054	3,072	17,890	36,048
鉱山土木工具	10,115	845	690	727	835	934	808	4,839	735	761	713	964	801	891	4,866	9,705
超硬工具計	324,665	26,987	27,507	29,547	27,736	27,166	28,613	167,556	29,241	24,548	29,263	29,148	27,119	28,182	167,502	335,058
ドリル	1,149	80	109	93	95	93	88	558	73	74	88	109	101	117	564	1,122
エンドミル	1,563	123	135	130	137	130	159	814	129	126	140	145	162	155	858	1,671
カッタ	464	50	39	53	39	40	45	266	54	39	45	51	40	40	270	536
インサート	24,351	2,023	1,956	2,001	1,945	1,958	2,158	12,040	2,194	1,973	2,037	2,150	2,157	2,081	12,593	24,633
ダイヤ・CBN計	27,528	2,277	2,239	2,277	2,215	2,221	2,449	13,678	2,451	2,213	2,311	2,456	2,460	2,394	14,284	27,961
ドリル	59,827	4,866	4,977	5,536	5,379	5,408	5,386	31,552	5,654	4,900	5,612	5,806	5,613	5,788	33,373	64,925
エンドミル	49,430	3,959	4,416	4,536	4,575	4,189	4,473	26,147	4,631	3,686	4,461	4,665	4,314	4,354	26,110	52,257
カッタ	7,796	714	695	750	740	725	774	4,398	797	573	809	837	780	782	4,579	8,976
ギャカタ	7,721	551	535	650	566	498	607	3,407	613	531	546	582	523	558	3,354	6,760
ブローチ	9,303	720	719	767	702	694	770	4,372	773	772	798	784	781	818	4,726	9,098
ねじ加工工具	40,595	3,373	3,458	3,515	3,721	3,329	3,575	20,970	3,606	2,814	3,493	3,667	3,485	3,473	20,538	41,508
バイト	10,178	772	792	898	874	917	942	5,194	867	757	868	913	843	916	5,164	10,358
リーマ	4,016	299	344	332	354	317	349	1,995	403	305	375	404	336	357	2,180	4,175
鋸刃カッタ	2,032	172	171	181	183	178	182	1,067	175	172	188	192	196	195	1,118	2,184
インサート	192,657	16,488	16,349	17,478	15,687	15,296	16,832	98,131	17,074	14,577	17,229	16,447	15,362	15,914	96,603	194,734
その他工具	15,271	1,309	1,310	1,349	1,351	1,323	1,207	7,850	1,271	1,109	1,221	2,534	2,477	2,562	11,174	19,024
ボディ関係	19,661	1,520	1,552	1,717	1,579	1,560	1,654	9,581	1,769	1,450	1,745	1,756	1,557	1,575	9,852	19,433
切削工具小計	418,489	34,743	35,316	37,709	35,711	34,435	36,749	214,663	37,633	31,646	37,346	38,587	36,267	37,292	218,772	433,434
耐摩耗工具	37,418	2,993	3,075	3,259	3,177	3,190	3,178	18,872	3,219	2,650	3,166	3,221	3,165	3,200	18,621	37,493
鉱山土木工具	10,115	845	690	727	835	934	808	4,839	735	761	713	964	801	891	4,866	9,705
総合計	466,021	38,581	39,081	41,694	39,723	38,559	40,735	238,373	41,588	35,057	41,225	42,772	40,234	41,383	242,259	480,632
前年同月比	99.5%	106.3%	102.3%	107.2%	104.6%	100.0%	105.1%	104.3%	100.0%	97.2%	105.4%	102.8%	99.4%	107.4%	102.1%	103.1%

(出典：(一社)日本機械工具工業会 会員統計)

## 新会員代表者紹介

会員代表者が交代されました。

エフ・ピー・ツール株式会社  
代表取締役 近田 忠史 様(2月)

株式会社 不二越  
工具事業部長 喜田 均 様(2月13日付)  
なお、前会員代表者の本林淳伸様は理事も退任されます。  
喜田様の理事就任については今年4月の理事会での承認後となります。

三菱マテリアル株式会社  
執行役常務プロダクト領域全般担当 張 守斌 様(4月1日付)  
なお、前会員代表者の小原和生様は理事も退任されます。  
張様の理事就任については今年4月の理事会での承認後となります。

## 編集後記

日頃よりJTAジャーナル作成にあたりご協力・ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。  
2026年が始まり早4か月、皆さまは今年どのような目標を立てられましたか。わたしは今年たくさん国内を旅行しようと考え、先日その第一弾として山口県・福岡県へ行き、美味しいご飯やお酒を楽しみ、大満足な旅行をしました。その旅行では、今号6ページ「2025年度 技術環境

合同委員会」で紹介されている太宰府天満宮も訪れました。お恥ずかしながら、その際に見た神様が「令和の時代を映し出した魅力あふれる特別な仮殿」だったことを、今号で初めて知りました…。JTAジャーナルでは「工場自慢」などでも地域の魅力をご紹介いただいているため次回と同様のことが起こらないよう、さまざまな角度から事前リサーチに努めようと思います！  
(M.S)